



千葉工業大学惑星探査研究センター(PERC)では、国立天文台(NAOJ)、JAXA宇宙科学研究所(ISAS)とともに、皆様に小惑星探査の最前線を知って頂くため、ふたご座流星群の極大時期に合わせ、ふたご座流星群と、その母天体である「フェートン」に関連する一般講演会を企画します。



深宇宙探査技術実証機DESTINY+

PERC/NAOJ/ISAS ふたご座流星群に関する一般講演会

ふたご座流星群とその母天体フェートンに挑む



渡部 潤一氏
(わたなべ じゅんいち)

大学共同利用機関法人
自然科学研究機構
国立天文台 副台長・教授

1960年、福島県生まれ。1987年、東京大学大学院、東京大学東京天文台を経て、現在、自然科学研究機構国立天文台副台長、教授、総合研究大学院大学教授。理学博士。国際天文学連合副会長。流星、彗星など太陽系天体の研究の傍ら、最新の天文学の成果を講演、執筆などを通して易しく伝えるなど、幅広く活躍している。1991年にはハワイ大学客員研究員として滞在、すばる望遠鏡建設推進の一翼を担った。国際天文学連合では、惑星定義委員として準惑星という新しいカテゴリーを誕生させ、冥王星をその座に据えた。主な著書に「最新 惑星入門」(朝日新聞出版、共著)「面白いほど宇宙がわかる15の言の葉」(小学館101新書)など。



吉川 真氏
(よしかわ まこと)

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 准教授

理学博士。「はやぶさ2」ミッションマネージャ。1962年、栃木県栃木市生まれ。東京大学理学部天文学科卒業。同大学院卒業。日本学術振興会の特別研究員を経て、1991年からは郵政省通信総合研究所に勤務。1996年にはフランスのニース天文台に1年間派遣される。1998年に文部省宇宙科学研究所に異動。2003年10月からは、組織の統合により、現在に至る。専門は天体力学。小惑星や彗星といった太陽系小天体の軌道解析が専門。現在は、人工衛星や惑星探査機などの軌道決定について研究を進めている。小惑星探査ミッション「はやぶさ」では軌道決定を担当し、プロジェクトマネージャを兼務した。また、太陽系小天体探査検討チームのリーダーとして「はやぶさ2」プロジェクトを立ち上げミッションマネージャを務めている。



荒井 朋子氏
(あらい ともこ)

千葉工業大学
惑星探査研究センター
主席研究員

東京大学理学部地学科卒業、同大学大学院理学系研究科博士課程修了。博士(理学)専門は鉱物学、惑星科学。大学院在学中、日本学術振興会特別研究員としてNASAジョンソンスペースセンター(JSC)及びカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)に留学。学位取得後、宇宙開発事業団(NASDA-現JAXA)にて約7年間、国際宇宙ステーション(ISS)の生命科学実験棟や月探査衛星「かぐや」の開発に従事。退職後は国立極地研究所、東京大学総合研究博物館を経て2009年4月の千葉工業大学惑星探査研究センター設立時より現職。ISSから流星観測プロジェクト「メテオ」及び小型科学衛星による小惑星フェートン探査ミッション「デスティニープラス」の主任研究者。2013年に米国南極隕石探査に参加。2014年に小惑星22106Tomokoaraiが命名された。

要 項

日時 **2018年 12月8(土)** 13:30~15:30

場所 千葉工業大学 東京スカイツリータウン®キャンパス ルームA
〒131-0045 東京都墨田区押上一丁目1番2号 東京スカイツリータウン®ソラマチ8F

主催 **千葉工業大学 惑星探査研究センター**

共催 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台 (NAOJ)
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 (ISAS)

プログラム

- ①ふたご座流星群に挑む：流星群の仕組みと観察の仕方 渡部潤一氏
- ②はやぶさ2の最新状況とDESTINY+への期待 吉川 真氏
- ③ふたご座流星群の母親小惑星フェートンをさぐる探査DESTINY+ 荒井朋子氏

事前予約制

応募フォームより、ご予約お願い致します。定員180名(申込順)
応募締切:2018年12月5日(水) 17:00 <https://req.qubo.jp/cit/form/perc>

申込QRコード